

令和 3 年度 施策評価表

第 5 章『魅力・元気・文化を誇れるまち』								
まちづくりの目標	農業、商業、工業、観光業などの各産業の活性化を図るとともに、これらが自然環境や文化、芸術などと複合的につながり、魅力あふれるまちづくりをめざします。							
分野別計画・指針	所沢市文化芸術振興ビジョン、所沢市産業振興ビジョン							
第1節	産業基盤							
関係所属	産業振興課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人		満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度			
「産業基盤」 所沢市は企業の立地や新ビジネスの創出が盛んに行われている		378	14.9%	202	8.0%			
評価指標の達成状況	指標名	単位	(H26) 現状値	R2年度 目標値	R2年度 実績	達成状況	R6年度 目標値	
	総生産額	億円	8,113	8,356	8,624(H30)	○	8,681	
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29) 現状値	R2年度 目標値	R2年度 実績	達成状況	R6年度 目標値
5-1-1	新たな産業用地等の創出	企業立地支援奨励金交付件数	件	3	5	3	×	6
5-1-2	企業誘致の推進	都市型産業等育成補助金交付件数	件	-	10	2	×	10
5-1-3	起業・創業の促進	創業支援事業の支援対象者数	人	166	313	157	×	313
5-1-4	新たなビジネスやイノベーションの創出	農商工連携による新たな商品やサービス等の創出件数	件	1	3	3	○	3
節の基本方針への取り組み状況								
◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り								
○企業誘致活動については、新型コロナウイルス感染症の影響により企業訪問の自粛や企業立地セミナーが中止となったが、市内の製造業者向けの立地希望調査を行い、立地ニーズの把握に努めた。								
○農商工連携により開発された既存商品の更なる改良を目指して、有識者から事業者に対して意見をもらう「農商工連携ブラッシュアップミーティング」を開催した。								
◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析								
○企業立地支援奨励金及び都市型産業等育成補助金については、金融機関等へ企業支援ハンドブックを配布するなどの周知活動を行ってきたが目標を達成することはできなかった。								
○創業支援事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開業ゼミの中止や人数制限を行ったため、支援対象者数が少なかった。								
今後の方向性								
◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容								
○新たな産業用地等の創出にあたっては、三ヶ島工業団周辺地区の都市計画事業の推進に向け、街づくり計画部と連携しながら事務を遂行していく。								
○市内への企業立地を促進するため引き続き関係機関と連携し周知活動に努めていく。								
◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容								
○企業誘致の推進にあたっては、立地希望調査において、立地を検討する企業に対し、企業訪問などにより情報収集に努め、誘致活動を展開していく。								

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
	3 すべての人に健康と福祉を	レ	12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
レ	8 働きがいも経済成長も		17 パートナースhipで目標を達成しよう
レ	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R3.7.29	記入者職氏名	産業経済部次長 青木 一圭

第2節	産業競争力・成長力	
関係所属	産業振興課、農業振興課	

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「産業競争力・成長力」 所沢市は商業・工業・農業などの地元産業が活発である	436	17.2%	192	7.6%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H26)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	製造品出荷額等	億円	1,628	1,780	1,830(H30)	○	1,980

基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-2-1	地域を牽引する事業者等への支援	地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業により開発された新製品件数	件	3	5	3	×	5
5-2-2	商工業者等の経営基盤の強化	(仮称)地域の中核となる事業者等応援事業による派遣件数	件	-	5	0	×	15
5-2-3	農業の生産基盤・経営基盤の強化	認定農業者数(総数)	人	161	170	167	×	170

事業目標の達成状況

節の基本方針への取り組み状況

◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
 ○地域資源活用・ものづくり総合支援補助金は、地域産品と地元業者が複数関わった新製品開発などの事業が交付対象となり、地域経済の活性化や農商工連携の推進を図った。
 ○社会経済情勢の変化などを踏まえ、農業振興地域内の施策を計画的に進めるための「所沢市農業振興地域整備計画」を改定した。
 ○都市に「あるべきもの」として位置付けられた市街化区域の農地及びその縁辺部の農業施策を進めるための「都市農業振興基本計画」を策定した。
 ○農業を牽引していく認定農業者に対しては、「認定農業者等経営改善推進事業」などにより農業経営改善の支援を行った。
 ○農用地の有効利用や生産性の向上を図るため、一部未開通であった通称「中富農道」の整備を行い全面開通に至った。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
 ○地域資源活用・ものづくり総合支援補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな商品開発の件数が少なく目標を達成することができなかった。なお交付決定件数は6件あった。
 ○地域産業を牽引する事業者等支援事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により対象事業者への訪問が実施できなかった。
 ○新たに認定申請する農業者がいたものの、高齢化等に伴い、認定農業者の更新手続きを見送る農業者がいた。

今後の方向性

◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
 ○農業を牽引していく認定農業者に対しては、農業経営改善に向けた支援を行う。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
 ○地域資源活用・ものづくり総合支援補助金は、小規模事業者の生産性向上や地域産業の活性化を図る上で効果的な事業であると考えており、より一層の周知や事業の充実に向け取り組んでいく。
 ○認定農業者の確保に向けた取り組みとして、「認定新規就農者」制度の周知を行うとともに、市独自の助成制度の充実など支援に努めていく。

SDGsへの貢献	
1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
レ 2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	レ 12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公平をすべての人に
レ 8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
レ 9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R3.7.29	記入者職氏名	産業経済部次長 青木 一圭
-----	---------	--------	---------------

第3節	観光・にぎわい								
関係所属	商業観光課、農業振興課								
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度			
「観光・にぎわい」 所沢市らしい誇れる観光スポットや賑わいのエリアがある			614	24.2%	413	16.3%			
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値	
	観光入込客数		万人	552	660	597(R元)	×	780	
事業目標の達成状況									
基本方針		事業目標		単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-3-1	にぎわい拠点の創出・活性化	新たな拠点施設への来場者数		万人	-	80	-	-	140
5-3-2	にぎわい拠点のネットワーク形成	他自治体と連携しイベント等へ参加した回数		回	20	22	6	×	26
5-3-3	観光を軸としたブランド化の推進	体験農場利用者ステップアップ事業への参加者数		人	238	300	0	×	300
5-3-4	観光客誘致の強化	Facebook等のSNSの”いいね”数		人	5,869	8,600	10,277	○	12,200
節の基本方針への取り組み状況									
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和2年にオープンした「ところざわサクラタウン」にて、市の特産品である狭山茶や地産農産物の販売等を通じて、来場者へのPR活動を行った。 ○広域連携を推進し、広く所沢市の観光資源をアピールするため、ダイア5市観光部会のほか、狭山丘陵連携事業推進実行委員会及び西武線沿線サミットの構成メンバーとして広域連携に取り組んだ。 ○観光・健康・環境(みどり保全)に関わる横断的な取り組みとして、クアオルト健康ウォーキングを実施するとともに、各種媒体を活用しウォーキングを広く周知した。 ○体験農場を新たに増設し、市民の利用を通じて生産者と消費者の相互理解に努めた。 ○各種事業の実施や地産地消レシピの刷新を図り、市内で生産された安全・安心な農産物のPR、イメージアップを図った。 ○指差し会話シートを作成し、飲食店や小売店に配布した。 ○多言語観光情報サイトGuidoorへ市内の施設等を追加した。 <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により「体験農場講習会」を中止としたため、目標未達成となった。なお、代替えとして作付方法や農場活用事例を掲載したパンフレットを作成し利用者へ配付した。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者向けインバウンドセミナーや外国語によるボランティアガイドの講座の開催等を取りやめた。 ○新型コロナウイルス感染症に伴う海外渡航制限により、海外旅行博への職員派遣を取りやめた。 									
今後の方向性									
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域連携を推進し、広く所沢市の観光資源をアピールするため、近隣市町村との連携を深めていく。 ○「ところざわサクラタウン」や「所沢観光情報・物産館(YOT-TOKO)」等の観光拠点における物販を通じて、ブランド化の推進を図るとともに、生産者と消費者の相互理解を図り、「農のあるまちづくり」を目指す。 ○afterコロナ期における「新たな生活様式」に対応し、安全を確保した新たな観光振興事業を検討する必要がある。 <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験農場においては、新型コロナウイルス感染症に関する県及び市の感染防止対策等を憂慮しながら、講習会等の開催を行うとともに、2年毎の入替えの時期となるため、農場貸借の更新や新たな利用者への農場の貸出しに向けた事務を進める。 ○afterコロナ期における「新しい生活様式」に対応し、安全を確保した新たな観光振興事業を検討する。 									
SDGsへの貢献									
	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう						
	2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを						
レ	3 すべての人に健康と福祉を	レ	12 つくる責任 つかう責任						
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を						
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう						
	6 安全な水とトイレを世界中に	レ	15 陸の豊かさを守ろう						
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に						
レ	8 働きがいも経済成長も		17 パートナリーシップで目標を達成しよう						
レ	9 産業と技術革新の基盤を作ろう								
評価日	R3.7.29	記入者職氏名	産業経済部次長 青木 一圭						

第4節	産業人材・雇用							
関係所属	産業振興課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「産業人材・雇用」 所沢市の農業の担い手育成や就労支援は充実している			198	7.8%	214	8.4%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H26)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	市内事業所従業者数		人	114,497	115,100	104,000(H28)	×	115,900
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-4-1	将来の産業を担う人材の確保と育成	市ホームページ等で紹介した事業者数(累計)	者	-	30	13	×	50
5-4-2	雇用の確保や労働環境の改善	就職応援フェア参加者数	人	105	100	92	×	80
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、「セカンドキャリアセンター事業」や「就労チャレンジ支援事業」など、若者・女性・シニア等の就労支援事業に取り組んだ。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○産業人材の確保については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により申請数が伸び悩んだ。</p> <p>○就職応援フェアについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により参加者数を制限して実施した。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○国・県と連携しながら、多種多様な世代に合わせた就労支援を実施していく。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○産業人材の確保については、掲載候補企業への訪問を含め、積極的に周知・勧誘を行っていく。</p>								
SDGsへの貢献								
	1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう						
	2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを						
	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任						
レ	4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を						
	5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう						
	6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう						
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公平をすべての人に						
レ	8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう						
レ	9 産業と技術革新の基盤を作ろう							
評価日	R3.7.29	記入者職氏名	産業経済部次長 青木 一圭					

第5節	国際化・多文化共生							
関係所属	企画総務課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「国際化・多文化共生」 所沢市は外国人市民にも暮らしやすいまちだ			373	14.7%	139	5.5%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	国際化・多文化共生に関する施策の満足度		%	-	36	14.7	×	40
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-5-1	国際交流活動の推進	姉妹都市交流事業に参加した市民の人数	人	150	160	実施なし	×	180
5-5-2	外国人市民が暮らしやすい環境づくり	多言語化した行政資料の種類(「やさしい日本語」含む)	数	5	20	62	○	40
5-5-3	多文化共生の意識を育む環境づくり	国際交流フォーラムの参加者数	人	550	570	-	×	610
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国際交流活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができなかった。 ○市ホームページでやさしい日本語による情報発信を充実させた。職員を対象に「やさしい日本語」の研修を実施した。 ○外国人市民と日本人市民、及び外国人市民同士の交流・情報交換の場となる国際交流フォーラムの開催を支援した。 <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○姉妹都市交流は、新型コロナウイルス感染症の影響で交流事業を実施できず、目標を達成できなかった。 ○国際交流フォーラムは新型コロナウイルス感染症の影響で、開催方法を展示とオンラインに変更したため、参加者数として集計できなかった。 								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○姉妹都市をはじめとする国々との交流について、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、推進していく。 ○外国人市民が日常生活に不便を感じないように、行政資料の多言語化(「やさしい日本語」を含む)や市ホームページ等での情報発信の充実を図る。 ○国際交流フォーラムや庁内研修等を実施するとともに、関係団体と連携して外国人市民への支援をサポートする。 <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○姉妹都市交流と国際交流フォーラムは、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、安全に実施する方法があるか検討する。 								
SDGsへの貢献								
	1 貧困をなくそう	レ	10 人や国の不平等をなくそう					
	2 飢餓をゼロに	レ	11 住み続けられるまちづくりを					
レ	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任					
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を					
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう					
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう					
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	レ	16 平和と公平をすべての人に					
	8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう					
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう							
評価日	R3.7.29	記入者職氏名	経営企画部次長 井上 典					

第6節	文化芸術・伝統文化							
関係所属	文化芸術振興課、文化財保護課、生涯学習推進センター							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「文化芸術・伝統文化」 日常生活の中での芸術・文化に触れる機会に満足している			482	19.0%	289	11.4%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	文化芸術・伝統文化に関する施策の満足度		%	-	41	18.5	×	45
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-6-1	個性あふれる文化の創造	所沢市文化祭の延入場者数及び事業参加者数	人	17,927	19,000	6,040	×	21,000
5-6-2	文化財の保護・活用	文化財保護にかかる事業の参加者数	人	9,450	10,600	3,367	×	12,000
5-6-3	ふるさと研究の推進	ふるさと研究活動にかかる延利用者数	人	5,882	6,000	3,587	×	6,200
5-6-3	ふるさと研究の推進	郷土資料利用件数	件	389	410	1,500	○	450
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○「文化」と「航空空祥」の2つのテーマの下、新しい市民文化の創造を目指した恒例の春のイベントである「市民文化フェア」について、コロナ禍での開催に向け、検討を進めた。(検討の結果、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和3年4月の開催は中止となった。)</p> <p>○「音楽のあるまちづくり」の新たな核となる事業として平成29年にスタートした「空飛ぶ音楽祭」の第2回目となる「空飛ぶ音楽祭2020」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、その後、翌年度の「空飛ぶ音楽祭2021」の開催に向けて準備を進めた。</p> <p>○市内において様々な芸術・文化活動を行う19の連盟(令和3年度からは17団体)で組織される所沢市文化団体連合会の最大の事業である「所沢市文化祭」は、新型コロナウイルス感染症の影響により半数以上の催しが中止を余儀なくされたが、各団体に対して情報提供や会場確保等により支援を行った。</p> <p>○所沢市民文化センターについて、指定管理者制度による管理運営を行った(指定管理者:公益財団法人所沢市文化振興事業団)。また、PFI手法を用いて実施する大規模改修事業について令和元年度をもって予定通り完了したことから、令和2年度からリニューアルオープンした。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け一時期休館を余儀なくされたが、開館期間中は、感染対策を徹底し安全に運営できるよう、指定管理者と協力しながら管理運営を行った。</p> <p>○所沢駅東口市民ギャラリーについて、指定管理者制度による管理運営を行った(指定管理者:公益財団法人所沢市公共施設管理公社)。また、令和3年度からの指定管理期間に向けた指定管理者選定委員会を経て、新たな期間での指定管理者を決定した。</p> <p>○所沢のアートの変遷を展望しようとする「ところざわアートの潮流」展をミュージアムで開催し、コロナ禍の中、多くの来場者が現代アートに触れる機会を創出した。また、本展覧会の報告集(図録)を作成した。</p> <p>○隔年開催の「伝統芸能発表会」は開催を見合わせた。過去の映像記録を再編集して公開することで、無形民俗文化財の紹介に努めた。</p> <p>○ふるさと研究資料の閲覧学習室を職員が常駐することなく開放することで利用者数は大幅増となっているが、職員常駐でないことで本来の利用目的ではない利用者も多くなっている。</p>								
<p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○「所沢市文化祭の延入場者数及び事業参加者数」の事業目標が未達成の原因として、新型コロナウイルス感染症の影響により、23事業中13事業が中止となったことが考えられる。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、「伝統芸能発表会」「埋文まつり」「星空フェスティバル」など大型事業の開催を見合わせたため参加者数や利用者数は減少したが、代替事業の開催など「新しい生活様式」に対応した事業の実施などに努めた。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○文化の薫り高い施策を進めていく。</p> <p>○所沢市民文化センターについては、市の文化の発信拠点として、魅力あるコンテンツを提供していけるよう指定管理者と協力していくとともに、地域密着型の文化振興についても推進していく。</p> <p>○文化財の所在把握や調査に努め、その価値を明らかにするとともに、保護・活用して後世へ伝えていく。</p> <p>○「ふるさと所沢」に関する資料を収集・整理・調査し、その成果を展示・講座・体験学習会等を通じて市民に伝える。</p> <p>○文化財や「ふるさと所沢」に関する資料を収蔵する保存施設の整備を検討する。</p>								

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容

○新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが依然立たないままであるが、多くの人が安心して様々な文化芸術に関する催し等に触れ、その内容に満足するよう、各催し等の内容の充実や安心安全な実施を目指すとともに、広報活動を充実させてより多くの機会に触れられるようにする。

○「新しい生活様式」に対応した事業実施の手法の模索・試行に努め、より多くの市民が「ふるさと所沢」の文化財や歴史・自然等に愛着を抱くことができるよう、その情報発信や講座開催などの充実に努める。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	レ 11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
レ 4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	レ 15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公平をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R3.7.29	記入者職氏名	市民部文化芸術振興担当参事 瀧澤 恵 教育総務部次長 市川 雅美
-----	---------	--------	-------------------------------------